

令和8年度日米豪共同指揮所演習(YS-91)の概要

名 称

本演習の通称：YS-91（ヤマサクラ91）
日米の部隊章「富士山」と「桜花」が由来

演 習 目 的

陸上自衛隊、米軍及び豪陸軍が共同して作戦を実施する場合における指揮幕僚活動を演練し、その能力の維持・向上を図る。

期 間

令和8年8月29日（土）～9月10日（木）
※ 演習期間の前後約1週間に準備及び撤収を実施予定

場 所

朝霞駐屯地、東千歳駐屯地、健軍駐屯地、善通寺駐屯地 等

演 習 参 加 部 隊

自衛隊	米豪軍
陸上総隊、北部方面隊、西部方面隊、教育訓練研究本部補給本部 等（東北方面隊、東部方面隊、中部方面隊等が支援） 計 約5,200名	米軍：第1軍団、第3海兵機動展開部隊 等 計約1,100名 （在日米陸軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍等が支援） 豪軍：豪陸軍第1師団 計 約200名

演 習 概 要

- 日米豪の指揮幕僚活動の能力向上を目的とした陸自の最大かつ重要な日米豪の共同演習
- より効果的な演練のため、日米豪の共同により年間を通じた演練を実施
- 演習内容は、着上陸侵攻する敵部隊を撃破する作戦を基本として日米豪の共同で演練
- 令和5年より豪陸軍が演習部隊として参加
- 各国の在京武官等がオブザーバーとして研修予定

演 習 形 態

各駐屯地等において対面による指揮所活動を実施するとともに、TV会議の活用も含めた訓練を実施

昨年度の訓練イメージ

＜YS-89（昨年度）の状況＞



【訓練開始式】



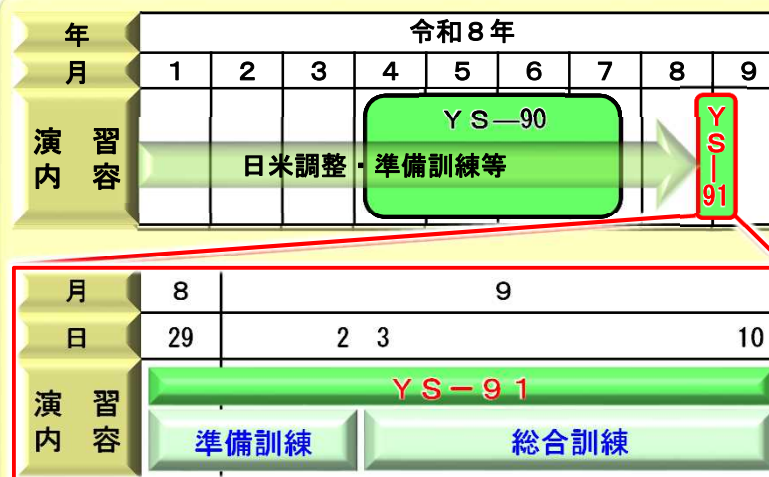
【同志国による研修】



【陸上幕僚長の視察】



【訓練終了式】



九州及び沖縄におけるYS-91について

訓練目的

演習における西部方面総監部等としての指揮幕僚活動能力の維持・向上

参加部隊

部 隊		健 軍	北熊本	沖縄県内の米軍施設	小 計
	西部方面総監部、 教育訓練研究本部 等	約 900 名	約 100 名	(調整中)	約 1000 名
	第 3 海兵機動展開部隊	約 200 名	約 40 名		約 250 名

訓練日程

月	8			9									
日	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
訓練 内容	準備訓練					総合訓練							

※演習期間の前
後約1週間に準
備及び撤収

参加部隊

【健軍駐屯地】

西部方面総監部、教育訓練研究本部及び第3海兵機動展開部隊の要員を主体とし、日米の共同による指揮幕僚活動を演練

【北熊本駐屯地】

第8師団司令部及び第3海兵機動展開部隊の要員を主体とし、日米の共同による指揮幕僚活動を演練

【沖縄県内の米軍基地（調整中）】

第15旅団司令部及び第3海兵機動展開部隊の要員を主体とし、日米の共同による指揮幕僚活動を演練

その他の 使用施設

【沖縄県内の米軍基地（調整中）】

訓練基盤の維持・確立のため、第15旅団の要員4名が沖縄県内の米軍基地（調整中）にて活動

参加部隊 宿泊予定

演習の間、参加者は各活動駐屯地（キャンプ）及び近傍駐・分屯地に宿泊予定
（一部は沖縄県内の米軍基地（調整中）及び部外宿泊施設を利用）